



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社
コード番号 4547 URL <http://www.kissei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 神澤 陸雄

問合せ先責任者 (役職名) 財務管理部長 (氏名) 北原 孝秀

TEL 0263-25-9081

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	15,841	△2.9	2,587	△18.4	3,194	△14.3	2,269	△6.5
26年3月期第1四半期	16,306	13.4	3,170	51.7	3,727	60.5	2,427	68.2

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 5,045百万円 (2,777.0%) 26年3月期第1四半期 175百万円 (△76.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	44.10	—
26年3月期第1四半期	47.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	172,753	146,425	84.6	2,839.90
26年3月期	172,649	142,821	82.6	2,770.32

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 146,171百万円 26年3月期 142,590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	21.00	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,800	5.9	4,300	△11.2	4,800	△15.5	3,350	△11.4	65.09
通期	67,200	△4.5	7,800	△36.6	8,700	△35.8	6,100	△32.9	118.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	56,911,185 株	26年3月期	56,911,185 株
27年3月期1Q	5,440,539 株	26年3月期	5,440,603 株
27年3月期1Q	51,470,603 株	26年3月期1Q	51,471,824 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) 販売実績	9
5. 補足説明資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、本年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の試行的導入が継続される一方で、後発品への置き換えが進まない長期収載医薬品への特例引き下げが実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、景気が回復基調にある中で、企業におけるIT投資及び設備投資意欲が徐々に改善されてきてはいるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などもあり、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	16,306	15,841	△2.9
営業利益 (百万円)	3,170	2,587	△18.4
経常利益 (百万円)	3,727	3,194	△14.3
四半期純利益 (百万円)	2,427	2,269	△6.5

医薬品事業の売上高は、142億2千7百万円（前年同期比2.4%減）となりました。糖尿病治療薬「グルベス[®]配合錠」、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ[®]錠」、腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」をはじめとする新製品の育成に注力するとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。本年4月に実施されました薬価基準引下げの影響や国内販売提携先への供給額が減少いたしましたことなどにより、減収となりました。なお、アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出治療薬「サビーン[®]点滴静注用」を本年4月17日に新発売いたしました。また、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名ユリーフ）の北米・中南米における技術導出先でありますアクタビス社（アメリカ）及び欧州・中東・アフリカなどにおける技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、当連結累計期間におきましても引き続きそれぞれの許諾地域内において製品育成ならびに発売に向けた準備を進めておりますほか、他の技術導出先各社におきましても製品育成が図られております。

その他の事業の売上高は、16億1千4百万円（前年同期比6.7%減）となりました。情報サービス業で増収となりましたものの、物品販売業、建設請負業におきまして減収となりました。

利益面では、売上原価率には変動がなかったものの、減収による減益要因に加え、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益は減益となりました。

研究開発の状況につきましては、本年5月に呼吸促進剤「ドプラム[®]注射液」につきまして未熟児無呼吸発作を効能追加する承認申請を公知申請にて、本年6月にはユリーフの剤形追加（口腔内崩壊錠）の承認申請をそれぞれ行いましたほか、各テーマにつきましても引き続き研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。

なお、昨年12月にファイザー社（アメリカ）に対しまして日本を除く全世界における独占的開発及び販売権を許諾いたしました当社創製品であります痛風・高尿酸血症治療薬KUX-1151（開発番号）につきましては、本年7月よりアメリカにて臨床試験が開始されております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,727億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3百万円増加しました。流動資産は現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、18億9千3百万円減少し990億1百万円となりました。固定資産は投資有価証券が時価評価により増加したことなどにより、19億9千7百万円増加し737億5千2百万円となりました。

当第1四半期連結会計年度末の負債は263億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億円減少しました。流動負債は支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少したことなどにより、27億4百万円減少し151億7千4百万円となりました。固定負債は退職給付に係る負債が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ7億9千5百万円減少し111億5千3百万円となりました。

当第1四半期連結会計年度末の純資産は1,464億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億4百万円増加しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金、退職給付に係る調整累計額が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の82.6%から84.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月8日発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に対応する単一年数の国債利回りを基礎として決定する方法から、退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の国債利回りを基礎として決定する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が637百万円増加し、利益剰余金が407百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,266	29,964
受取手形及び売掛金	23,711	22,740
有価証券	27,048	27,049
商品及び製品	5,318	5,317
仕掛品	688	1,425
原材料及び貯蔵品	6,806	5,980
繰延税金資産	2,354	2,392
その他	3,701	4,133
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	100,894	99,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,480	38,518
減価償却累計額	△26,937	△27,154
建物及び構築物 (純額)	11,542	11,364
土地	13,069	13,055
建設仮勘定	—	47
その他	14,815	14,731
減価償却累計額	△12,467	△12,423
その他 (純額)	2,347	2,307
有形固定資産合計	26,960	26,775
無形固定資産		
投資その他の資産	692	669
投資有価証券	41,669	44,092
繰延税金資産	566	449
その他	1,919	1,817
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	44,102	46,307
固定資産合計	71,754	73,752
資産合計	172,649	172,753

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,390	3,777
短期借入金	1,871	1,821
未払法人税等	3,231	919
賞与引当金	2,620	898
その他の引当金	558	505
その他	4,207	7,252
流動負債合計	17,879	15,174
固定負債		
長期借入金	1,409	1,384
繰延税金負債	3,817	5,175
役員退職慰労引当金	132	102
退職給付に係る負債	5,796	3,787
資産除去債務	106	106
その他	687	597
固定負債合計	11,948	11,153
負債合計	29,828	26,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,254	24,254
利益剰余金	90,918	91,751
自己株式	△8,684	△8,684
株主資本合計	130,844	131,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,724	13,878
退職給付に係る調整累計額	△978	615
その他の包括利益累計額合計	11,745	14,494
少数株主持分	231	254
純資産合計	142,821	146,425
負債純資産合計	172,649	172,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	16,306	15,841
売上原価	5,317	5,154
売上総利益	10,988	10,687
返品調整引当金戻入額	14	13
返品調整引当金繰入額	15	19
差引売上総利益	10,988	10,681
販売費及び一般管理費	7,817	8,094
営業利益	3,170	2,587
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	351	358
有価証券評価益	194	273
その他	18	27
営業外収益合計	575	670
営業外費用		
支払利息	11	8
為替差損	6	53
その他	1	1
営業外費用合計	19	63
経常利益	3,727	3,194
特別利益		
固定資産売却益	—	11
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	—	13
特別損失		
固定資産処分損	0	0
減損損失	78	—
特別損失合計	78	0
税金等調整前四半期純利益	3,649	3,207
法人税、住民税及び事業税	1,436	847
法人税等調整額	△212	88
法人税等合計	1,223	935
少数株主損益調整前四半期純利益	2,425	2,271
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	1
四半期純利益	2,427	2,269

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,425	2,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,249	1,154
退職給付に係る調整額	—	1,619
その他の包括利益合計	△2,249	2,774
四半期包括利益	175	5,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177	5,018
少数株主に係る四半期包括利益	△1	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	14,576	14,576	1,730	16,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	791	791
計	14,576	14,576	2,522	17,098
セグメント利益	3,139	3,139	10	3,150

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	3,139
「その他」の区分の利益	10
セグメント間取引消去	14
固定資産の調整額	3
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	3,170

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	14,227	14,227	1,614	15,841
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	981	981
計	14,227	14,227	2,595	16,823
セグメント利益	2,536	2,536	63	2,599

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	2,536
「その他」の区分の利益	63
セグメント間取引消去	18
固定資産の調整額	20
その他の調整額	△50
四半期連結損益計算書の営業利益	2,587

4. 補足情報

(1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
その他代謝用薬	2,799	17.2	3,038	19.2	238	8.5
神経系用薬	66	0.4	58	0.4	△8	△12.2
感覚器官用薬	345	2.1	425	2.7	79	23.1
循環器官用薬	1,788	11.0	1,413	8.9	△375	△21.0
消化器官用薬	788	4.8	713	4.5	△75	△9.5
ホルモン・泌尿生殖・ 血液体液用薬	4,803	29.5	4,712	29.7	△90	△1.9
アレルギー用薬	409	2.5	366	2.3	△43	△10.6
その他	3,575	21.9	3,499	22.1	△75	△2.1
報告セグメント計	14,576	89.4	14,227	89.8	△348	△2.4
その他の事業	1,730	10.6	1,614	10.2	△115	△6.7
合計	16,306	100.0	15,841	100.0	△464	△2.9
(うち輸出高)	(1,350)	(8.3)	(1,464)	(9.2)	(113)	(8.4)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

5. 補足説明資料

(1) 連結決算概要

(百万円)

項目	平成26年3月期		平成27年3月期			
	第1四半期	通期	第1四半期	前同比	第2四半期 累計予想	通期予想
売上高	16,306	70,399	15,841	△ 2.9%	33,800	67,200
営業利益 (売上高比%)	3,170 (19.4)	12,301 (17.5)	2,587 (16.3)	△ 18.4%	4,300 (12.7)	7,800 (11.6)
経常利益 (売上高比%)	3,727 (22.9)	13,541 (19.2)	3,194 (20.2)	△ 14.3%	4,800 (14.2)	8,700 (12.9)
当期純利益 (売上高比%)	2,427 (14.9)	9,093 (12.9)	2,269 (14.3)	△ 6.5%	3,350 (9.9)	6,100 (9.1)
販売費及び一般管理費	7,817	34,917	8,094	3.5%	17,900	35,800
(うち研究開発費)	(2,322)	(11,298)	(2,566)	10.5%	(6,200)	(12,400)
(売上高比%)	(14.2)	(16.0)	(16.2)		(18.3)	(18.5)
輸出高	1,350	7,756	1,464	8.4%	3,860	6,660

(2) 主要医薬品売上高

(百万円)

製品名	平成26年3月期		平成27年3月期			
	第1四半期	通期	第1四半期	前同比	第2四半期 累計予想	通期予想
排尿障害改善薬 ユリーフ	3,315	13,331	3,457	4.3%	6,770	13,770
糖尿病治療薬 グルファスト	837	3,410	791	△ 5.5%	1,790	3,630
糖尿病治療薬 グルベス	589	2,551	787	33.5%	1,450	3,020
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	314	1,266	283	△ 10.1%	650	1,300
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	1,371	5,595	1,459	6.3%	2,610	5,330
高脂血症治療薬 ベザトール	1,502	5,543	1,191	△ 20.7%	2,370	4,600
切迫流・早産治療薬 ウテメリン	1,018	3,909	871	△ 14.4%	1,750	3,390
脳循環改善薬 キサンボン	286	1,074	222	△ 22.3%	460	910
アレルギー性結膜炎治療薬 リザベン点眼液	167	1,526	265	57.9%	630	1,450
アレルギー性疾患治療薬 リザベン	355	1,444	321	△ 9.4%	680	1,350
気管支喘息治療薬 ドメナン	53	197	44	△ 18.0%	90	170
血液凝固阻止剤 フラグミン	115	418	88	△ 23.0%	190	370
緑内障・高眼圧症治療薬 リズモンTG点眼液	133	493	109	△ 18.3%	220	430
子宮内膜症治療薬 ゾラデックス1.8mgデポ	191	796	152	△ 20.2%	380	740
活性型ビタミンD ₃ 製剤 フルスタン	163	659	143	△ 12.0%	300	600

(3)新薬開発状況(自社)

(平成26年8月現在)

開発段階	製品名／ 一般名／ 開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
承認申請中	サラジェン®／ ピロカルピン	自社	頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善 シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善	唾液分泌促進作用	剤形追加 (顆粒剤)
	ドプラム®／ ドキサプラム	自社(公知申請)	未熟児無呼吸発作	呼吸促進作用	効能追加
	ユリーフ®／ シロドシン	創製品／第一三共共同開発	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用	剤形追加 (OD錠)
第Ⅲ相	PA21	導入品／ビフォー・フレゼニウス・ メディカルケア・リーナル・ファーマ(スイス)	透析時高リン血症	リン吸着作用	
	KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)作用	
第Ⅱ相	オザグレル／ KCT-0809	創製品／テイカ製薬共同開発	ドライアイ	角結膜上皮障害修復作用	
	KLH-2109	創製品	子宮内膜症、子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	
	KWA-0711	創製品	慢性便秘症	消化管における水吸収抑制作用	
	KUX-1151	創製品	痛風、高尿酸血症	尿酸生成抑制・排泄促進作用	
第Ⅰ／Ⅱ相	YS110	導入品／ワイズ・エー・シー、東京大学、 科学技術振興機構	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノクローナル抗体	治験実施地域： フランス
第Ⅰ相	KEA-0447	創製品／杏林製薬共同開発	過活動膀胱	選択的プロスタグランジンEP1受容体拮抗作用	

※前回公表時(平成26年5月)からの変更点: ①ドプラム(効能追加)…新規掲載、②ユリーフ(剤形追加)…申請準備中→承認申請中、③KUX-1151…第Ⅰ相→第Ⅱ相、
④エポエチンアルファBS注「JCR」(高単位製剤)…開発中止により削除

(4)新薬開発状況(導出)

(平成26年8月現在)

開発段階	一般名／ 開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ(日本)	アセアン ^{※1}	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)		アセアン、インド、スリランカ ^{※2}	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1A受容体拮抗作用
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	β 2受容体刺激作用
第Ⅰ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	β 2受容体刺激作用
	KUX-1151	ファイザー(アメリカ)	日本を除く全世界	痛風、高尿酸血症	尿酸生成抑制・排泄促進作用

※前回公表時(平成26年5月)からの変更点: KUX-1151…新規掲載

※1: 発売: タイ、承認: フィリピン、ミャンマー、申請中: 3カ国

※2: 発売: タイ、承認: インド、申請中: アセアン6カ国